

資料編

英語活動に対する教員意識調査 第1次調査（小学校教員用）

* ご回答いただく先生方に

- この調査紙は小学校教員用です。
- 回答にあたっては該当するものの番号を○で囲んでください。いくつかの質問にはご意見を記述いただけるようにしてあります。
- 英語活動も、教科としての英語教育も、「英語教育」と一括して呼んでいます。

- 1 性別 (男 女)
- 2 教員歴 [] 年 (端数は切り上げてください 例: 2年6か月→ 3年)
- 3 勤務校所在地 [] (都道府県) [] (市町村)
- 4 校種 (国 公 私) 立 1 小学校 2 中学校
- 5 小学校英語にかかわった(ている)経験年数 担任として [] 年
担任以外で [] 年

=====

- 6 小学校英語活動についての研修や研究会に出たことがありますか。
1 ある 2 まだないが、受けてみたい 3 ない
- 7 貴校では英語教育をどの程度の頻度で実施していますか。を1つ選んでください。
1 週に [] 時間程度 2 月に [] 時間程度
3 学期に [] 時間程度 4 ない
- 8 1回分は何分ですか
1 15分未満 2 20分程度 3 30分程度 4 40分程度
5 授業1コマ 6 学年で異なる []
- 9 英語教育実施にあたり、校内で企画・運営を行う分掌や係などを設けていますか。
1 設けている 2 設けていない 3 来年度は設置をする予定
- 10 あなたは、その係を担当したことがありますか、または、現在していますか。
1 ある 2 ないが、してみたい 3 ない
- 11 ALTやJTE（日本人英語教員または指導員）は、どれくらいの頻度であなたの補助に当たりますか
1 毎回 2 毎週1回程度 3 2週間から1ヶ月に1回程度
4 2ヶ月に1回程度以下 5 ほとんどなし 6 なし
- 12 ALTやJTEが、訪問しないときは、誰が担当しますか
1 同僚の専任JTEが担当 2 JTEでない同僚とTTで
3 学生ボランティアや市民ボランティアが担当 4. 自分で
- 13 ALTやJTEとTTを行う場合の、あなたの役割は何ですか
1 主たる指導者 2 翻訳係 3 児童の中に加わってリードする
4 助手 5 児童の管理 6 その他 []

- 2 1 学級担任に望まれる役割については、どのように考えますか
- | | | | | | | |
|---|----------------------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | 英語授業の主たる指導者として | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | A L Tや専科の英語教員と同等の立場で | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | A L Tや専科の英語教員の助手としての立場で | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 英語の教育には直接かかわらず、児童の管理をする立場で | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 2 2 教室内で使用する言語は、どのように考えますか
- | | | | | | | |
|---|----------------------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | 指導者、児童もできるかぎり英語を使う | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 指導者は英語を使うが、児童は日本語を使ってもよい | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 指導者は必要に応じて日本語を使うが、児童は英語を使う | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 指導者、児童も必要に応じて、日本語を使ってもよい | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 2 3 評価の方法としては、どのように考えますか
- | | | | | | | |
|---|---------------------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | 児童の製作物（ワークシート、ノート、作文、絵など） | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 発表や話し合いなどの活動状況を観察する | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 各校で作成するテスト | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 市販の客観テスト | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 外部機関による英語資格テスト | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 2 4 児童の評価をどのような手段で保護者に伝えますか
- | | | | | | | |
|---|----------------------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | 文章にして児童の学習の様子や成果を知らせる | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 段階別評価を用いて連絡する | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 客観テストの結果を連絡する | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 英語活動の様子をビデオ撮影などして、保護者会で見せる | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 2 5 小学校教員の研修の在り方として、どのように考えますか
- | | | | | | | |
|---|--------------------------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | 初任者研修に位置づける | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 校内研修を充実する | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 校外の研修（国、県、市町村など公的機関などの主催）に参加する | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 校外の研修（民間団体や民間企業などが主催）に参加する | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 校外の研修（近隣の大学が主催）に参加する | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 2 6 どのような研修を受けたいですか
- | | | | | | | |
|---|-----------------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | 英語力の向上 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 指導技術・方法 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 教材の選択・選定 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 指導案・指導計画 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | A L Tなどとのコミュニケーションの仕方 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 | ティーム・ティーチングの方法 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 評価の方法 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 2 7 小学校の英語教育の、以下のような課題についてはどのように考えますか
- | | | | | | | |
|---|------------|-------|---|---|---|---|
| 1 | 教材の選定・入手方法 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | カリキュラムの構築 | _____ | 4 | 3 | 2 | 1 |

3	教育内容の明確化	_____	4	3	2	1
4	指導者の英語運用能力	_____	4	3	2	1
5	指導者の指導技術	_____	4	3	2	1
6	地域格差・学校格差	_____	4	3	2	1
7	時間数の確保	_____	4	3	2	1
8	授業準備時間の確保	_____	4	3	2	1
9	A L T等との打ち合わせの確保	_____	4	3	2	1
10	A L T等の人材の確保	_____	4	3	2	1

28 小中連携について、次のような文字や単語の指導についてはどのように考えますか

1	文字や単語は一切見せない、読ませない、書かせない	—	4	3	2	1
2	文字や単語を見せてもよいが、教えることはしない	—	4	3	2	1
3	文字や単語を読ませる	_____	4	3	2	1
4	文字や単語を書かせる	_____	4	3	2	1
5	文字や単語が読めるようにルールを教える	_____	4	3	2	1

29 小中連携のための協力体制について、どのように考えますか

1	同じ学区内で、中学校教員が小学校教員に、アドバイスをを行うこと	_____	4	3	2	1
2	中学校派遣のA L Tが、小学校も訪問し、アドバイスをを行うこと	_____	4	3	2	1
3	小学校の学習状況を中学校に申し送ること	_____	4	3	2	1
4	小学校と中学校との間で連絡会などを行うこと	_____	4	3	2	1

30 一般的に、中学校へ波及すると予想されることがらについて、どう考えますか

1	英語を最初から始める必要がなくなり、時間にゆとりが出るだろう	—	4	3	2	1
2	ゆとりが出た分、これまでより深く教えることができるようになるだろう	—	4	3	2	1
3	ゆとりが出た分、中学校で高校の内容まで扱えるようになるだろう	—	4	3	2	1
4	聞く力がついたので英語で授業がしやすくなるだろう	—	4	3	2	1
5	話す力がついたので英語で授業がしやすくなるだろう	—	4	3	2	1
6	語彙力が豊かになって、読んだり書いたりする授業がしやすくなるだろう	—	4	3	2	1
7	既に学んでいるぶん新鮮味がなく、関心や意欲が少なくなるだろう	—	4	3	2	1
8	既に学習差が認められ、授業がしにくくなるだろう	—	4	3	2	1

小学校英語について、上のアンケートへのお答えいただいたことのほか、ご意見などございましたら、自由にお書きください。

* どうもご協力ありがとうございました。お礼を申し上げます。

英語活動に対する教員意識調査 第1次調査（中学校教員用）

- 回答にあたっては該当するものの番号を○で囲んでください。
- いくつかの質問にはご意見を記述いただける欄を設けてあります。
- 外国語活動(英語活動)と、中学校教科としての英語を一括して「英語教育」と呼んでいます。

回答者のプロフィールをご記入ください

性別： （ 男 女 ）

教員歴： [] 年（端数は切り上げてください 例：2年2か月→3年）

小学校英語にかかわった（ている）経験年数 学級担任として [] 年

担任以外で [] 年

あなたは今年、1年生の英語授業を担当（している していない）

小学校教員免許を（持っている 持っていない）

勤務地： [] 県 []（市 町 村）

勤務校：（国立 公立 私立）（中学校 中等教育学校）

勤務校の必修「英語」授業時間数 週 [] 時間

勤務校の選択英語の授業（ある ない）

1 あなたは、中学1年生をこの3年間（平成17～19年度）で担当したことがありますか、または、現在（平成20年度）していますか。

- 1 ある 2 ない

2 小学校英語活動や児童英語についての研修や研究会に出たことがありますか。

- 1 ある 2 受ける予定がある 3 受ける予定はないが受けてみたい
4 受ける予定もないし必要を感じていない

3 小学校英語の必修化に向けて、対策のための会合などを科内で持つことがありますか。

- 1 ある 2 近く持つ予定 3 ない 4 話題になっていない

4 小学校段階で児童に経験しておいてほしいと思われるものは何だと思いませんか。必要度が高いと思う順に3つ答えてください。

- 1 英語の歌 2 ゲーム活動 3 簡単な会話 4 単語の発音
5 アルファベットの発音 6 アルファベットの識別 7 基礎的な語彙
8 基礎的な文法 9 絵本の読み聞かせ
10 簡単な教室英語 11 特にない
12 その他 []
- | | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |

5 中学校英語との連携を考えて、小学校側の体制づくりのために必要なものは何だと考えますか。必要度が高いと思う順に3つ答えてください。

- 1 週2時間以上の授業 2 公的な教員研修 3 専科教員の配置
4 ALTの配置 5 統一教科書教材
7 校内推進体制の整備 6 小学校と中学校の連絡
8 相互の授業参観 9 その他 []
- | | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |

- 1 1 小学校英語における文字や単語の指導について、どのように考えますか。
- | | | | | | |
|---|--------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 文字や単語のつづりは一切用いないでほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 文字や単語を見せてもよいが、教えないでほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 文字や単語を読ませないでほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 文字や単語を書かせないでほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 文字と音の関連について、ルールに気づかせてほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 | ローマ字との違いを教えてほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 | アルファベットは読めるようにしてほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 簡単な単語は読めるようにしてほしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
- 1 2 小中連携のための協力体制について、どのように考えますか。
- | | | | | | |
|---|---------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 中学校教員が小学校教員に、アドバイスを行う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 中学校のALTが小学校を訪問しアドバイスを行う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 小学校から中学校にアドバイスを求めるシステムを作る | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 小学校の英語学習状況を中学校に知らせる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 小学校と中学校との間で連絡会などを行う | 4 | 3 | 2 | 1 |
- * その他お気づきのことを、用紙末尾の欄にお書きください。[p. 4 >>>
- 1 3 一般的に、中学校へ波及すると予想されることがらについて、どう考えますか。
- | | | | | | |
|----|---------------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 英語を初歩から始める必要がなく、時間にゆとりが出る | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | ゆとりが出た分、これまでより深く教えることができるようになる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | ゆとりが出た分、高校の学習内容にも触れることができるようになる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 関心・意欲が高まり中学校での授業がしやすくなる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 英語で授業が多くできるようになる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 英語に慣れているので先生の英語への反応が速くなる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 英語を聞く力がついて授業がしやすくなる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 英語を話す力がついて授業がしやすくなる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9 | 語彙力がふえて読んだり書いたりする授業がしやすくなる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 | 既に学んでいる分、新鮮味がなく、関心や意欲が低下する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 | 既に学習差が生じ、授業がしにくくなる | 4 | 3 | 2 | 1 |
- * その他、予想されることがあれば、用紙末尾の欄にお書きください。[p. 4 >>>
- 1 4 中学校で育てるべき力について、以下の各項目はどの程度重要と考えますか。
- | | | | | | |
|----|---------------|---|---|---|---|
| 1 | 英語を聞くこと | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 英語を話すこと | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 英語の語句を読むこと | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 英語の語句を書くこと | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 英語の語彙をふやすこと | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 英語の発音 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 英語の文法 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 英語を正しく音読すること | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9 | 自己表現する意欲を養うこと | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 | 異文化理解 | 4 | 3 | 2 | 1 |

15 以下の項目について、現在あなたはどの程度自信を持って指導に当たることができていますか。

1	英語を聞くこと	4	3	2	1
2	英語を話すこと	4	3	2	1
3	英語の語句を読むこと	4	3	2	1
4	英語の語句を書くこと	4	3	2	1
5	英語の語彙をふやすこと	4	3	2	1
6	英語の発音	4	3	2	1
7	英語の文法	4	3	2	1
8	英語を正しく音読すること	4	3	2	1
9	異文化理解	4	3	2	1
10	自己表現する意欲を養うこと	4	3	2	1

16 小中連携を踏まえ、中学校英語教員として何に重点を置いた研修や研究会に出たいですか。

1	英語力の向上	4	3	2	1
2	英語で授業を行うための指導技術・方法	4	3	2	1
3	教材の作成・選定	4	3	2	1
4	指導案・指導計画	4	3	2	1
5	ALTなどとのコミュニケーションの仕方	4	3	2	1
6	ティーム・ティーチングの方法	4	3	2	1
7	評価の方法	4	3	2	1
8	小学生の発達や心理	4	3	2	1

小学校外国語活動（英語活動）の必修化に伴い、現在不安に感じていることがありますか。あるとすれば、具体的にどのようなことでしょうか。自由にお書きください。

小学校英語と中学校英語の連携について、アンケートへお答えいただいたことのほか、ご意見などございましたら、自由にお書きください。

ご協力有り難うございました。

あとがき

小学校での英語教育をめぐっては、平成10年度版小学校学習指導要領の告示以来、さまざまな議論が繰り返されてきました。当事者である小学校教員や児童への調査は他にも多くありますが、その児童たちが進学する中学校での英語教育がどのように対応するのかについては、まだこれからの大きな課題として注目すべきものと考え、このリサーチに取りかかりました。

現場の先生方との懇談会形式での聞き取り調査やアンケートから、少しずつ、小学校と中学校の先生方の意識の差がみえ始めてきました。また、行政の取り組み次第で先生方の意識が変わっていくだろうという展望も見えてきました。それらの見通しに応じて小学校・中学校連携のための研修について、内容の具体的提案に向けた検討も可能になってくると思われまふ。まだまだ十分な成果といえる段階ではありませんが、3年後の総まとめに向かって有意義な中間報告書となってくれればと存じます。お読みいただいた方々からのフィードバックを頂戴できれば幸いに存じます。

なお、多忙な中、調査にご協力くださった各地の先生方、教育委員会の皆様、そして何より協力を惜しまずエネルギーの多くを傾け、日々の努力を続けてくださっている本研究グループのメンバーに、ここで改めて深く感謝いたします。

平成20年12月25日

小泉 仁

平成 19－21 年度 科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究成果報告書
平成 19 年度報告書

小学校英語活動と中学校英語の連携についての総合的研究
－研修の実態と教員意識の調査－

平成 20 年 12 月 25 日 発行

研究代表者 小泉 仁
発行 東京家政大学 (狭山校舎)
〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1
TEL 04-2952-1621
印刷 (有) 創文社
〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-4-1
TEL 03-3491-8321